

平成 22 年 2 月 23 日
金沢市大豆田本町甲 58
澁谷工業株式会社
シブヤマシナリー株式会社

L I B（リチウムイオン電池）製造設備ビジネスに進出

澁谷工業株式会社とシブヤマシナリー株式会社は、この度、分散・混合用機器の世界的メーカーである IKA-WERKE 社と業務提携し、その日本法人 IKA ジャパン株式会社と協調し、リチウムイオン電池の製造設備事業に進出することになりました。

リチウムイオン電池の市場は 2009 年に約 9,000 億円で、今後も電気自動車の普及などから急速な拡大が確実視されており、その規模は 2015 年に 2 兆 6000 億円とも言われております。リチウムイオン電池の製造工程は、電極への活物質塗布、乾燥・プレス、電極裁断、組立と進められます。電極への活物質塗布のためには、活物質などの原料粉体を均一にスラリー化しなくてはなりません。このスラリー化は現在バッチ処理となっており、製造能力向上のネックとなっております。

IKA-WERKE 社は、連続式の分散・混合機器で世界的に高い評価を受けております。当社はボトリングプラント等で培ったエンジニアリング技術で、IKA-WERKE 社の機器を用いてリチウムイオン電池製造用の連続式スラリー分散システムを構築しました。本システムは、リチウムイオン電池の製造に必要な原料を、高品質で高速に連続してスラリー化する装置です。

本システムの主な特徴は以下の通りです。

- ・連続処理なので、生産性が高く、省スペース化が図られます。分散に必要な時間は従来設備の 1 / 4 に短縮できます。
- ・インライン処理が可能なので、製品品質と装置洗浄性の向上が図られます。

本システムの販売は澁谷工業のメカトロ事業部が担当し、製造はシブヤマシナリーが担当いたします。シブヤマシナリーと IKA ジャパンは、連続式スラリー分散システムを本年 3 月 3 日～5 日に東京ビッグサイトで開催される国際二次電池展に共同で出品し、本格的な販売活動を開始いたします。なお、本システムの価格は 2～4 億円で、周辺設備を含めたプラントとして初年度 20 億円の売上を見込んでおりますが、マーケットの拡大テンポが早いので、数年後には 100 億円規模を想定しております。

以上

・ IKA-WERKE 社の概要

住 所：ドイツ シュタウフェン (D-79219 Staufen, Germany)

社 長：レーネ スティグルマン (Rene Stiegelmann)

従業員：約 600 名 (グループ合計)

本件に関するお問い合わせ先：澁谷工業株式会社 広報部 TEL.076-262-1495